

2009年度

科目名	比較文化論A		
担当教員	村尾 敏彦		
配当	人社3	コード	43600
開期	後期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	様々な文化の比較から、自らの文化の不透明性へ		
目的と概要	空気を肺から出し入れするように、私たちは意識しないままに、文化を呼吸しています。空気が無色透明であるように、自分が生まれ育った文化圏の中身を、私たちは当然のものと思い込んでいます。ところが、異なる文化に出会うと、自分たちの生き方が唯一可能な形態とは思えなくなります。もしかしたら、人類は、人間にはどのような生き方が可能なのか、夥しい数の異なる文化を世界中に生み出すという形で、壮大な実験を行っているのかもしれない。現在の日本社会の文化を捉えなおす機会になればいいのですが。		
成績評価法	授業ごとに、ふりかえりを書いてもらい、最後に自分の考えをまとめてもらいます。それにもとづいて評価します。		
テキスト	特になし。授業中にプリントを配布します。		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
1.ヨーロッパ、アメリカ、日本のイメージ 2.裁判員制度の比較 3.アメリカ「12人の怒れる男たち」 4.「12人の優しい日本人」と日本人論① 5.「12人の優しい日本人」と日本人論② 6.身体文化と舞台芸術—能・狂言 7.身体文化と舞台芸術—歌舞伎 8.身体文化と舞台芸術—アイリッシュ・ダンス 9.身体文化と舞台芸術—バレエ 10.身体文化と舞台芸術—英国の演劇 11.「マクベス」と「蜘蛛の巣城」① 12.「マクベス」と「蜘蛛の巣城」② 13.「マクベス」と「蜘蛛の巣城」③ 14.「マクベス」と「蜘蛛の巣城」④ 15.授業のまとめ			